

2024年8月1日
株式会社パスコ

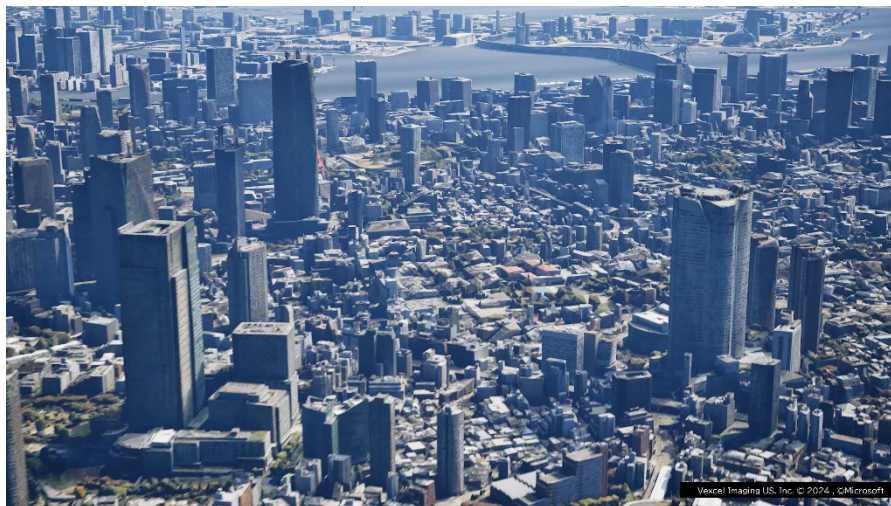
(報道資料)

高精細フルテクスチャー付の3次元モデルデータの販売を開始 - BIM/CIM などリアルなシミュレーションに高精度な3次元モデルを提供 -

株式会社パスコ（本社：東京都目黒区、以下：パスコ）は、森林や河川・砂防などの国土管理、都市計画、道路や上下水道の施設管理など、行政業務を中心にデジタルツインにおける、3次元地形情報取得・活用を推進しています。

このたび、デジタルツインや民間分野での活用の幅を広げるため、高解像度の航空写真から生成した、3次元モデルデータの販売を8月1日より開始いたします。

本データは、Vexcel Imaging 社（ベクセル・イメージング社、以下：Vexcel 社）との契約に基づきパスコが撮影をした超高解像度の航空写真をもとに、3次元モデル化されたものです。高精細な航空写真を提供する「Vexcel Data Program（ベクセル・データ・プログラム）」日本版に、フルテクスチャー付の3次元モデルデータとしてラインナップしました。



現実空間をリアルに再現した、フルテクスチャー3次元モデル
Vexcel Imaging US, Inc. © 2024, ©Microsoft

■ 背景

国土交通省では、2023年度から直轄の業務・工事で「BIM/CIM 原則適用」を開始しています。また、同省が主導する Project PLATEAU（プロジェクト・プラトー）では、官民における3次元モデルデータの活用と普及を進めており、今後、3次元モデルデータの活用が盛んになると考えられます。一方で、専門技術を持たない事業者が3次元モデルデータを整備するには、データの収集、モデルの作成などに多くの費用や高い技術が必要となるため、広域での整備は難しいという課題もあります。

今回、販売を開始する3次元モデルデータは、高精細かつ高精度な位置情報持つ航空写真を活用しているため、高精細でリアルな3次元モデルデータを広域で提供できます。

■ Vexcel 社の 3 次元モデルデータについて

Vexcel 社の 3 次元モデルデータは、既に世界 60 都市以上で整備・販売され、様々な分野で活用されています。

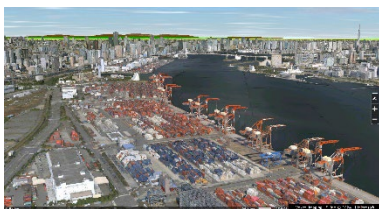
今回販売を開始する日本版のデータには、パスコで撮影した、直下・前方・後方・左右 5 方向の航空写真が使用されています。この航空写真は直下視で 7.5cm の地上解像度を有しているため、高精度かつ高精細な 3 次元モデルデータの提供を可能にしました。

建物の外観がリアルに表現された 3 次元モデルデータは、眺望や鳥瞰シミュレーションなどに違和感なく使用できるほか、都市の開発や再開発、商業施設建設などの建築分野や公共分野、ゲームや VR などのエンターテインメント分野で幅広く活用いただけます。

- (活用例)
- ① BIM/CIM、都市開発・再開発のシミュレーション
 - ② マンションからの眺望シミュレーション
 - ③ ドローン配送や自動運転などの道路や物流シミュレーション
 - ④ 都市計画などの住民との合意形成
 - ⑤ 防災・減災分野での被害シミュレーション
 - ⑥ 河川や港湾、文化財の管理のための現況シミュレーション
 - ⑦ ゲームや VR などのエンターテインメント



都市の例



港湾の例



空港の例

Vexcel Imaging US, Inc. © 2024, ©Microsoft

■ 範囲とデータ形式について

今回販売を開始するエリアは、東京、神奈川、千葉、埼玉などの一部地域となります。今後、札幌、大阪、京都、神戸、広島など、順次販売エリアを拡大する予定です。

(データ形式) Cesium 3D Tiles 形式

参考) Vexcel Data Program について: <https://www.pasco.co.jp/biz/data-sales/vdp/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社パスコ

(報道機関)

(お客様)

広報部

お問合せフォーム

<https://www.pasco.co.jp/>

press@pasco.co.jp

<https://www.pasco.co.jp/contact/>

プレスリリースの内容は発表時のものです